

政務活動費活動報告（視察）

(1) 出席者（会派名・個人名）

会派 公政会 北村 収、西川 正義、宮田 茂雄、渡辺 史郎、谷口 典隆、
安居 正倫、安澤 勝

(2) 実施日：2013年7月22日

【1. 調査の目的】

(1) 本市における現状

2015年4月の供用開始に向け豊郷町、甲良町の二町とも協議を終え建設予定地地元説明を開催し、設計段階にある。

(2) 本市における課題

前獅山市長の選挙公約であった中学校給食実施に向け進捗してきたが、交通渋滞発生時の遠隔地への配送の問題、アレルギー対策、地産地消への取り組み等

【2. 調査地選定理由】

(1) 調査項目

学校給食センターについて

選定地1：兵庫県加東市

【3. 調査結果】

(1) 内容

加東市では昭和39年3月にセンター方式で開所され、平成10年4月に改築移転された施設能力としては1日 5000食を調理する事ができ、所長以下 栄養教諭2名、事務職員1名、現場主任1名、調理員18名(直営)、給食配達業務委託(シルバー)、アルバイト12名全員地元雇用で1年契約としている。外部委託しない理由については、緊急時の業者の対応の不安。外部委託はある一定期間が経過すれば契約改正しなければならない。安全面からも現状のままが良いとの事。またアレルギー対策とし別メニューを作るなどの対応は特にない。11名居られるが、全て献立表の成分表で対応し保護者からもクレームは出ていない。メニューは幼・小・中全く同じ量で調整されており、開所当初から全て同じメニューを提供しているので問題ないと思い込んでいるが、現場栄養士からは味付けの面で(甘口・辛口)で困っているとの声がある。子どもたちからのリクエストメニューを取り入れたり、新メニューには★マークを献立表に付けるなどして、食に関心を持ってもらえるように工夫している。

(2) 考察

湖東定住自立圏域の一市二町（彦根市、豊郷町、甲良町）で供用開始に向け着々と進められているが、調理請負業者の選定や配送ルート、大規模災害時に被災者への炊き出しなどに活用できるのかなど今後具体的な運営面での検討を要すると思われる。